

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

チャバネアオカメムシの越冬量及び本年7月頃までの発生量（技術情報第14号）について（送付）

このことについて、下記のとおりとりまとめましたので、業務の参考に御活用ください。

記

本年のチャバネアオカメムシの越冬量は平年並であり、本年7月頃までの発生量は平年並で、前年よりやや少ないと予想される。

1 目的

チャバネアオカメムシの越冬量は、その年の7月頃までの発生量の指標となる4～7月の予察灯誘殺数と正の相関が認められる（図1）。そこで、県内各地のチャバネアオカメムシの越冬量から本年7月頃までの発生量を予想し、防除対策の参考資料とする。

2 調査方法

- （1）調査時期 令和5年（2023年）1月
- （2）調査地点 県内16か所の定点（表1）
- （3）調査方法 各地点3m²（1m²×3カ所）分の落葉を採取し、落葉中のチャバネアオカメムシの越冬虫数を計数した。

3 結果

チャバネアオカメムシの越冬虫数について、県内16地点の合計は8頭（前年16頭、平年8.9頭）と平年並、前年比やや少であった。また、捕獲地点数は、16地点中6地点（前年7地点、平年5地点）あり、平年比・前年比共に並であった（表1）。

4 今後の発生量予想等

- （1）本年のチャバネアオカメムシの越冬虫数及び捕獲地点数は平年並であることから、本年7月までのチャバネアオカメムシの発生量は平年並で、前年よりやや少ないと予想される。
- （2）果樹カメムシ類は、局地的に飛来し、被害をもたらすことがあるので、定期的に園を見回り、早期発見と薬剤による初期防除を徹底する。
- （3）ここで示したデータには、ツヤアオカメムシの越冬量は含まれていないが、チャバネアオカメムシと同様の対策を行う。
- （4）果樹カメムシ類の予察灯及びフェロモントラップの誘殺数データを病虫害防除所のホームページ（<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/75/125504.html>）に4月以降随時掲載する。これらの情報を参考に防除要否や防除適期を判断する。

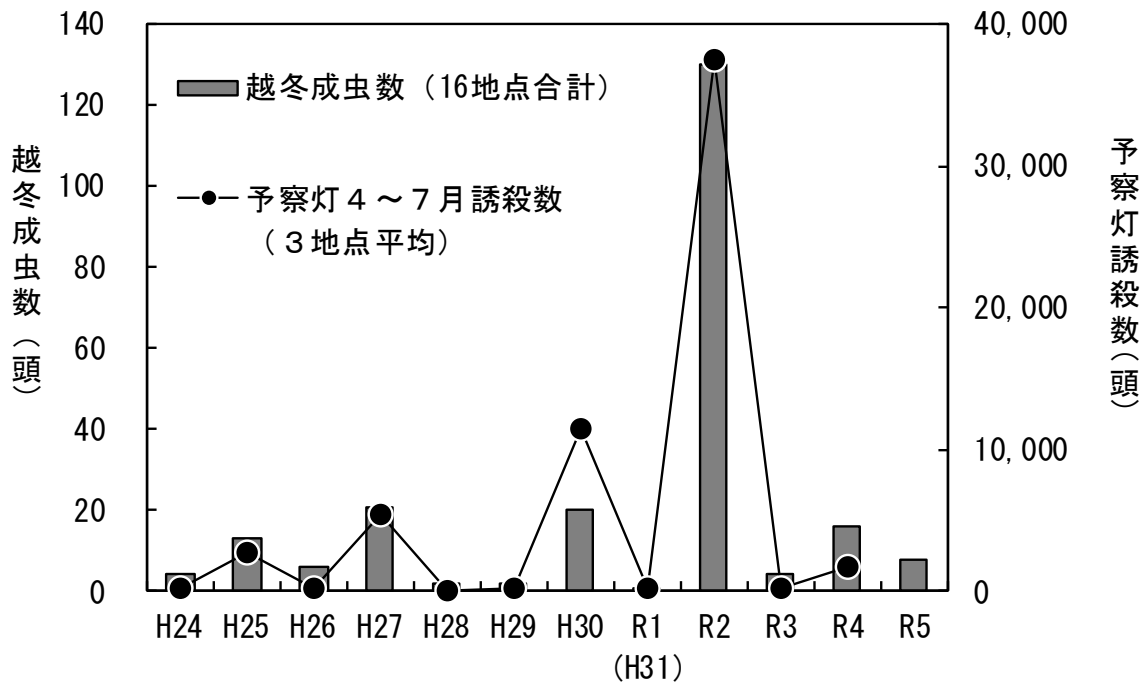


図1 チャバネアオカメムシの越冬成虫数と予察灯4～7月誘殺数の推移

- 1 「越冬成虫数」は、各3m²調査した16地点の合計頭数を示す(左縦軸)。
- 2 「予察灯4月～7月誘殺数」は、合志市栄、宇城市松橋、天草市本渡に設置した3台の予察灯の4月から7月までの誘殺数累計の平均値を示す(右縦軸)。

表1 チャバネアオカメムシの越冬量調査結果(越冬成虫数(頭/3m²)及び捕獲地点数)

調査年 調査地点	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1 (H31)	R2	R3	R4	R5	平年*
熊本市河内町①	0	1	1	0	0	0	0	0	9	2	0	1	
熊本市河内町②	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	2	0	
熊本市植木町	1	3	1	2	0	0	0	0	18	1	1	3	
宇城市三角町①	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4	1	
宇城市三角町②	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
宇城市不知火町	0	0	0	2	0	0	0	0	2	0	0	0	
宇城市松橋町	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
宇城市豊野町	0	1	1	1	0	0	3	0	1	0	0	0	
玉名市天水町	1	1	0	0	0	0	2	0	9	0	5	0	
山鹿市蒲生	0	2	1	5	1	1	3	1	22	0	1	1	
菊池市玉祥寺	0	2	0	2	0	0	2	0	1	1	0	0	
甲佐町西寒野	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
氷川町大野	0	0	0	2	1	0	0	0	7	0	1	1	
芦北町田浦	1	0	0	1	0	0	2	0	9	0	0	0	
天草市本渡町	1	1	0	5	0	0	4	0	17	0	2	0	
苓北町内田	0	0	0	0	0	0	3	0	27	0	0	1	
越冬成虫数合計	4	13	6	21	2	2	20	1	130	4	16	8	8.9
捕獲地点数	4	8	6	9	2	2	8	1	12	3	7	6	5.0

1 調査時期 令和5年(2023年)1月

2 調査地点 上記県内16か所の定点

3 調査方法 1地点3m²(1m²を3か所)分の落葉を採取し、落葉中の越冬成虫数を計数した。

※平年値はH24～R4までの10年平均(R2の越冬量は平年に比べて非常に多く、平年値を算出するデータとして適さないため除外した)。

熊本県病害虫防除所

(農業研究センター 生産環境研究所内)

担当: 岡島、福岡

TEL : 096-248-6490